

# 妊娠中の方への RS ウィルスワクチンの定期接種に関するお知らせ

八王子市保健所予防接種担当

RS ウィルス感染症を予防接種法の A 類疾病に位置づけ、令和 8 年 4 月 1 日より妊娠 28 週から 37 週未満の方を対象に、定期接種として実施することが国から示されましたのでお知らせいたします。

## ●RS ウィルスとは

呼吸器感染症の原因となる RS ウィルスは、2 歳までにほとんどの子どもが感染すると言われています。感染すると発熱や鼻水が現れ、一部では強いせきや呼吸困難などへ進行し、入院が必要になることもあります。日本では、年間約 12 万人のお子さんが RS ウィルスに感染し、約 3 万人が入院していると言われています。

初回感染時には、より重症化しやすいと言われており、特に生後 6 ヶ月以内に感染すると、細気管支炎、肺炎など重症化する場合があります。

RS ウィルス感染症には特効薬はなく、基本的には対症療法(酸素投与、点滴、呼吸管理など症状を和らげる治療)により治療します。

## ●RS ウィルスワクチン(アブリスボ)について

### ・効果

妊娠中の方が RS ウィルスワクチンの接種を受けると、胎盤を通じてお腹の中の赤ちゃんに抗体が移行し、出生後の赤ちゃんの RS ウィルスへの感染や入院などの重症化を防ぐ効果が期待できます。

接種後 14 日以内に出生した乳児においては、胎児への抗体の移行が十分でない可能性があります。

### ・副反応【ワクチン添付文書より抜粋】

|            | 10%以上                   | 10%未満 | 頻度不明   |
|------------|-------------------------|-------|--------|
| 局所症状(注射部位) | 疼痛(40.6%)               | 紅斑、腫脹 |        |
| その他の症状     | 頭痛(31.0%)<br>筋肉痛(26.5%) |       | 発疹、尋麻疹 |

※血管迷走神経反射(血圧の低下、吐き気、失神など)が起こる場合があります。

※接種後に気になる症状等がある場合には、医師や看護師にご相談ください。

## ●定期接種の対象者

接種日時点で八王子市に住民登録がある、妊娠 28 週～37 週未満の方(\*1)

※令和 8 年 3 月 31 日以前の接種は定期接種(\*2)の対象とならないため、全額自己負担となります。

※基礎疾患等のある方や、妊娠高血圧症候群の発症リスクが高い方は、事前にかかりつけ医にご相談下さい。

\*1 ご自身の妊娠週数に関しましては、妊娠中のお子さんの母子健康手帳または、かかりつけ医にご確認ください。※妊娠毎に接種が必要です。

\*2 定期接種とは、予防接種法に基づいて市区町村などが公費で実施する、定められた時期・回数に応じて受けるワクチン接種のことです。

## ●接種時の持ち物

妊娠中のお子さんの母子健康手帳、本人確認書類(マイナンバーカード等)

※予診票は医療機関に用意してあります。

※事前に医療機関にご予約のうえ、接種してください。

※接種可能な医療機関等の詳細は、令和 8 年 3 月下旬に、八王子市ホームページに掲載予定です。

## 【問い合わせ先】

八王子市保健所予防接種担当

〒192-0046 八王子市明神町 3 丁目 19-2 東京たま未来メッセ 庁舎・会議室棟 5 階  
TEL:042-645-5102

